

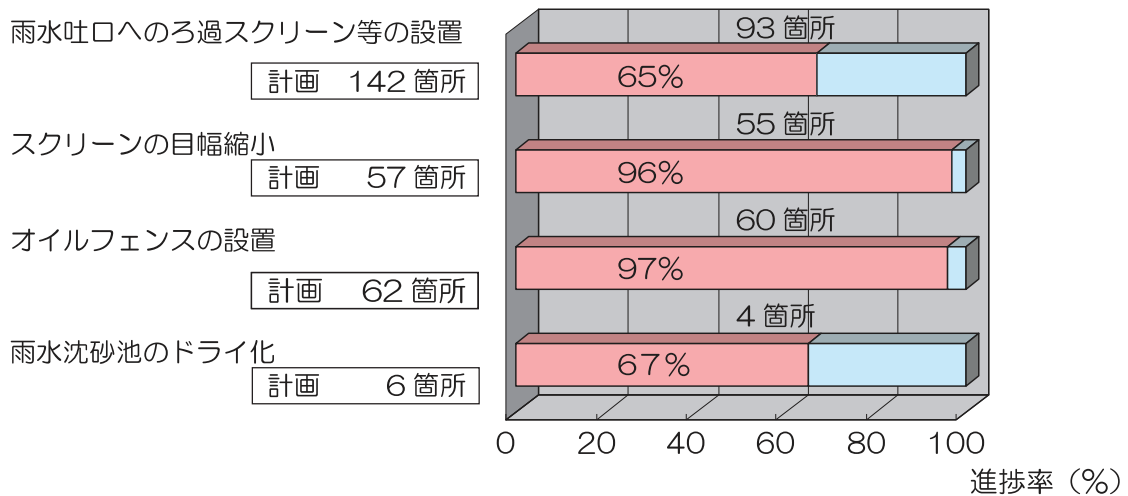
## 4 これまでのクイックプランの進捗状況と効果

### (1) これまでのクイックプランの進捗状況

平成12年度から、お客さまの目に見える事業効果を早期に発現させる対策としてオイルボールやごみの流出抑制対策などを重点的に実施している。平成15年度までの進捗は以下のとおりとなっている。

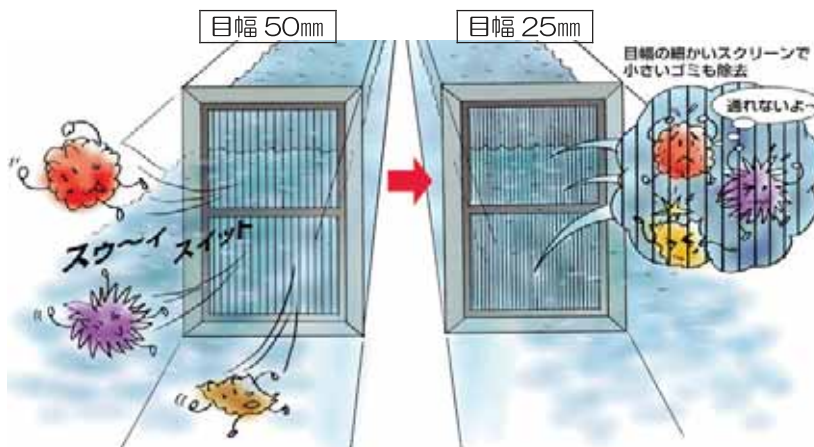
#### ① オイルボールやごみの流出抑制対策の進捗状況

図2-10 オイルボールやごみの流出抑制対策の進捗率（平成15年度末）



- 雨水吐口へのろ過スクリーン等の設置は65%の進捗率であるが、今後、未実施箇所に早期に整備が可能で費用対効果大きい水面制御装置（p.36）等の対策を実施することで、進捗率を上げていく。
- ポンプ所及び水再生センターでのスクリーンの目幅縮小、オイルフェンスの設置は、計画どおりに進んでいる。
- 雨水沈砂池のドライ化は、今後残りの2箇所を実施し、平成16年度に完了する予定である。

図2-11 スクリーンの目幅縮小



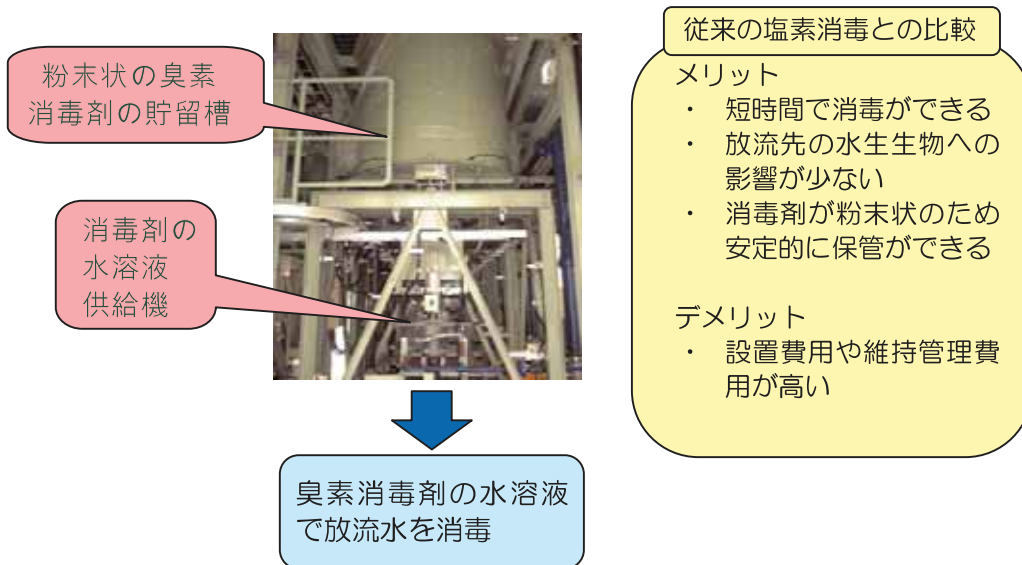
ポンプ所や水再生センターの沈砂池の出入口に、目幅が小さいスクリーンを設置し、より多くのオイルボールやごみを集め、河川や海への流出を抑制する。

## ② 雨の日の放流水質の改善対策の進捗状況

- 雨の日の放流水の消毒を強化するために実施した、水再生センターの消毒設備の改良は、計画した9箇所すべてで対策を完了した。

- 芝浦水再生センター等に新たに技術開発した臭素消毒設備を導入した。

写真2-8 臭素消毒設備



## (2) これまでのクイックプランの効果

クイックプランでは、オイルボールやごみの流出、雨の日の放流水質の改善など、新たな課題に速やかに対応するため、対策や地区を重点化し取り組んだ。

その効果を検証する。

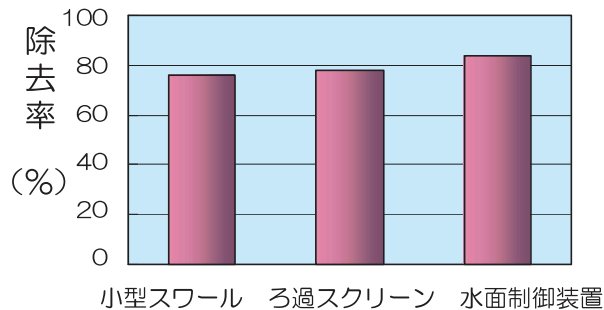
### ① 雨水吐口でのごみの流出抑制対策

雨水吐口での小型スワール、ろ過スクリーン、水面制御装置（※）による流出抑制対策



76%~84%のごみを除去

図2-12 ごみの除去割合



※ 水面制御装置の効果は、水理模型での実験結果による。

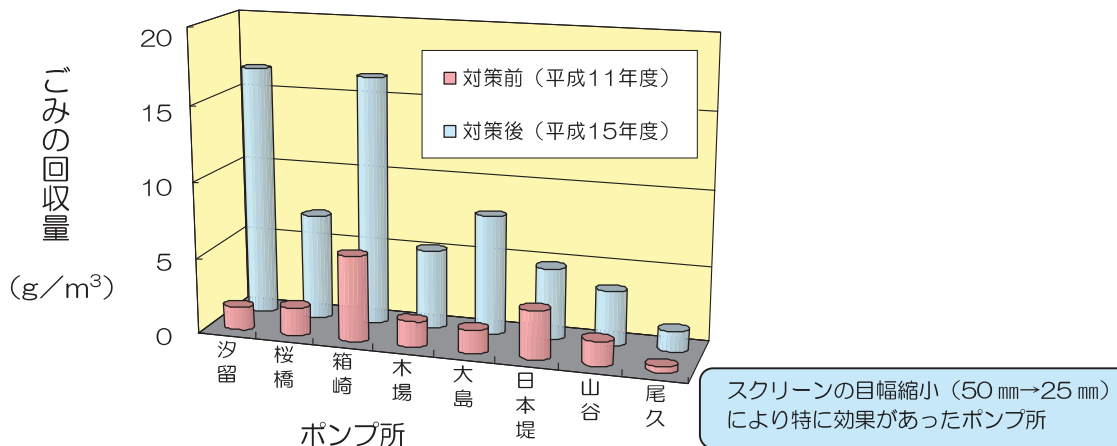
### ② スクリーンの目幅縮小

ポンプ所や水再生センターでのスクリーンの目幅縮小による流出抑制対策



対策後（平成15年度）のごみの回収量は対策前（平成11年度）の約2倍

図2-13 対策前後のスクリーンで回収したごみの量



スクリーンの目幅縮小（50mm→25mm）により特に効果があったポンプ所

### ③ 管きよの清掃

管きよの現況調査に基づき、オイルボールやごみの付着・堆積が多い箇所を重点化し、年間計画により清掃を実施



管きよの清掃範囲の拡大

#### 清掃した管きよの延長

クイックプラン実施前の4年間 (平成8年度～11年度)	クイックプラン実施期間の4年間 (平成12年度～15年度)
573 km	692 km

写真2-9 マンホールにたまった油のかたまり 写真2-10 管きよに付着した油のかたまり 写真2-11 油のかたまり



### ④ お台場へのオイルボールの漂着日数の減少

①～③のオイルボールやごみの流出抑制対策の実施



お台場へのオイルボール漂着日数が年々減少

図2-14 お台場海浜公園へのオイルボールの漂着日数の変化

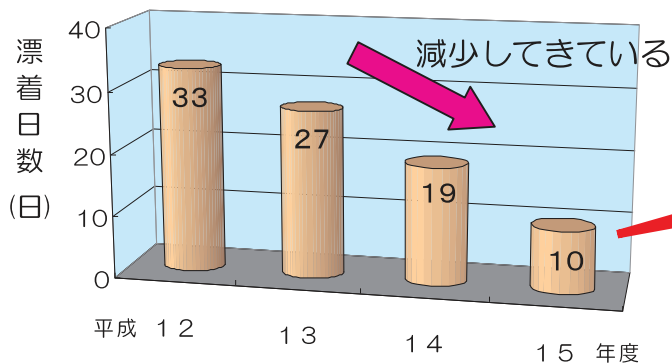


写真2-12 お台場海浜公園に漂着したオイルボール

